

授業科目名	統計学	担当教員 倉本 到	
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第1クオーター		
講義内容	現代社会において、人は数字に取り巻かれて生活している。数量をより分かり易く理解し、説得力のある説明をするための手段の一つが統計学である。本講義では、統計の考え方に基づいて、身の回りの値を読み取り、意思決定に結びつける基礎的方法を学ぶ。データのまとめ方や客観的な活用技術は、これから学ぶ専門科目の理解、さらに社会に出てから必要なものとなる。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 記述統計と推測統計の違いを理解し、必要に応じて適切にデータを処理することができる。 代表値・平均値と分散などの数値の表現方法を理解し、その適切な取り扱いができる。 仮説検定の考え方を説明するとともに、コンピュータを利用して運用することができる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> データの要約：平均と分散、代表値と散らばり データの表現：度数分布表の活用 確率分布（1）：二項分布・ポアソン分布 確率分布（2）：正規分布 標本分布と中心極限定理 中間まとめと理解度確認 統計的推測（1）：点推定 統計的推測（2）：区間推定 仮説検定（1）：検定の考え方 仮説検定（2）：母平均の差の検定（t検定） 相関と回帰 カテゴリデータに対する検定 		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 新しい用語や考え方が数多く出てくるので、不明な点は次週の講義までに教科書・参考書・質問などで明らかにしておくこと。 週ごとに提示される課題に回答し、提出すること。 		
テキスト	統計学への招待、日本経営数学会監修、税務経理協会(2018) なお講義資料はPDFにてダウンロード可能とする（予定）		
参考文献	やさしく学べる心理統計法入門、鈴木公啓、ナカニシヤ出版(2018) マンガでわかる統計学、高橋信、トレンドプロ、オーム社(2004)		
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> 中間まとめ時の理解度確認（40%） 学期末試験（50%） 週ごとに提示される課題（10%） <p>これらの単純合計による。</p>		

履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none">・欠席・遅刻は成績に加味しない。課題提出遅れは減点対象。・携帯電話等の使用は自己責任。他の受講生に迷惑をかけないこと。・質問は歓迎、隨時可。電子メールでの質問も受け付ける。
実践的教育	該当しない。
備考欄	